

横浜市欧州事務所長

栗林 岳大

横浜市は、これまで10年以上にわたりアジアの都市、特にフイリピン・メトロセブ、ベトナム・ダナン、タイ・バンコクと

の間で公民連携による都市間協力を進め、脱炭素化に貢献している。横浜市が行政として蓄積しているまちづくりの経験やノウハウを伝え、気候変動対策のマスタープランづくりなどを支

マとした国際会議における首長サミットに、脱炭素分野で世界をリードする都市の市長らと共に参加した。山中市長は、アジアの首長として唯一登壇し、横浜市が市民や企業との連携のもと

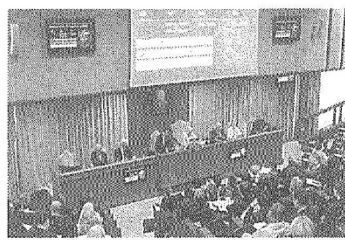
脱炭素、国際連携へ

援する一方、同市内の企業が廃棄物管理やエネルギー、汚泥処理などの分野で環境技術を現地

に紹介や導入している。進めている脱炭素分野の取り組みを講演したほか、パリ市長、ボストン市長らと意見交換した。

5月中旬、山中竹春横浜市長がバチカン市国を訪れた。ローマ教皇庁主催の気候変動をテ

マとした国際会議における首長サミットに、脱炭素分野で世界をリードする都市の市長らと共に参加した。山中市長は、アジアの首長として唯一登壇し、横浜市が市民や企業との連携のもと



山中市長も講演したローマ教皇庁主催の気候変動をテーマとした国際会議

けるグリーン(同市金沢区)と横浜市の連携により、メトロセブ(マンダウエ市)でごみの分別やプラスチックのリサイクルの推進や二酸化炭素(CO2)排出削減につながっている事例を取り上げた。

アジアの都市から横浜市や横浜市内の企業に寄せられる関心や期待は高い。昨年11月に横浜市が開催した「第12回アジア・スマートシティ会議」には、海外から44もの都市・政府関係機関の代表が集い、アジアの脱炭素化に向けた共同宣言を出している。

きょう29日には、新たにEUや欧州諸都市などとの連携により、「日本・EU都市気候行動ワークショップ」を横浜で開催し、知見や先進事例を共有する。横浜はアジアのリーディング都市として、世界の脱炭素化推進への協力を続けている。